

激動の時代
南方への憧れと葛藤

ドキュメンタリー映画

中村地平

Chihei nakamura

2024年春
完成公開予定

宮崎市制100周年記念
宮崎県置県140年記念

○脚本・監督：小松孝英 ○撮影・編集：ワタナベカズヒコ ○プロデューサー：故清武清 ○編集：水崎皓平

○翻訳：鄭恵文 ○朗読：伊藤海 ○語り：加藤沙知 ○WEB：野崎一生 ○撮影：松尾定紀 ○音楽：小松梨奈 ○特別協力：中村横子（中村地平次女）



完成試写会
（入場無料）

3月19日（火） 宮崎市民プラザ・オルブライトホール ◎18:00開場～19:00上映～（予約不要）

3月20日（水・祝） 宮崎県企業局庁舎・県電ホール ◎12:30開場～13:00上映～ ◎15:00開場～15:30上映～（予約不要）

3月23日（土） 宮崎県立図書館 ◎1回目10:00上映～ ◎2回目14:00上映～ ※問い合わせ：宮崎県立図書館（0985-29-2911）

3月24日（日） 都城市立図書館 ◎1回目10:00上映～ ◎2回目14:00上映～ ※問い合わせ：都城市立図書館（0986-22-0239）

脚本・監督：小松孝英
撮影・編集：ワタナベカズヒコ
プロデューサー：故清武清
編集：水崎皓平
翻訳：鄭惠文
朗読：伊藤海
語り：加藤沙知
WEB：野崎一生
撮影：松尾定紀
音楽：小松梨奈
特別協力：中村禎子(中村地平次女)

構成顧問：岡林稔
台湾文学史顧問：河原功
台湾美術史顧問：森美根子

制作協力：
阮文雅／張文薰／林碧聳
邱建堂／中村洋介／矢野勝敏
渡辺綱纜／原田解／菊池銃一郎
黒木裕／小野和道／南邦和
平山文春／中竹俊博／清家智子
井上康志／藤山由香利／追立敏弘
鶴田萌子／日高満州代／森山修／陳雲

Promoter：
渡辺康晃／井手義哉／神田浩一
黒岩寛史／渡辺一弘

デザイン：出水洋一郎
題字：今井美恵子
編曲：ヤマカミヒトミ

協力：
川上昌明／吉瀬真澄／佐野ありさ
邱函妮／王淑津／長友大輔／田丸真美
小笠原麻美／林克三／迫田哲平

古写真資料提供：
中村家／塩月光夫
上泉秀人／上泉眞裕／中山雅弘
三尾和子／梅崎辰實／土持孝博
ふくやま文学館

取材協力：
宮崎県立図書館／都城市立図書館
台湾師範大学芸術学院
東呉大学日本語文学科
台湾大学台湾文学研究所

後援：
宮崎県／宮崎県教育委員会
宮崎市／宮崎市教育委員会
都城市／都城市教育委員会
一般財団法人 台湾協会

中村地平(本名 中村治兵衛) 1908~1963

宮崎県宮崎市出身の小説家。明治41年宮崎の商家に生まれる。父は宮崎太陽銀行創業者の中村常三郎。旧制宮崎中学校時代に佐藤春夫の台湾小説に憧れ日本統治時代台湾の旧制台北高等学校に入学。台北高等学校では塩月桃甫らに学び、桃甫の長男超らと文芸誌「翔風」や「足跡」で創作活動。昭和5年に上京し東京帝国大学文学部入学。太宰治と出会い井伏鱒二に師事し「熱帯柳の種子」で文壇デビュー。その後、台湾を舞台とした小説の他に多数の作品を発表。「北の太宰、南の地平」と言われて芥川賞候補にもなり南方文学を提唱する著名な作家となった。しかし世の中は戦時体制下に入り、中村地平は徴用され従軍作家として行ったシンガポールとある事件に遭遇する。戦後、中村地平はなぜ中央での南方文学を中心とした作品から転向したのか。なぜ地元に戻り宮崎の戦後復興、今の時代で言う地方創生に命を捧げたのか・・・



○Sponsors





























